

令和7年度 能登町立柳田中学校 前期（I期）学力向上プラン

年間のゴールの姿

自ら考え、共に学ぶ生徒の育成～考えを適切に表現する活動を通して～

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ																		
場や条件に応じて考えを適切に表現することができていない。	[現状と要因]																		
	○発言が多くあり、話し合いなどは活発にできる。授業に前向きな生徒が多い。																		
	△条件を満たしていない記述が多い。																		
	→話し合いの視点として、正解のイメージ、必要な語句、根拠を明確にするなどの視点を示せていない。また、教科で学習する用語を適切に用いることができていない。																		
	[根拠となるデータ]																		
	・令和7年度全国学力学習状況調査・県基礎学力調査より【3年生】(自校採点の正答率)																		
	<table><tr><td></td><td>国語</td><td>数学</td><td>英語</td><td>理科</td><td>社会</td></tr><tr><td>全体</td><td>71.4%</td><td>50.0%</td><td>61.2%</td><td></td><td>64.5%</td></tr><tr><td>思・判・表のうち低い問題</td><td>21.4%</td><td>28.5%</td><td>21.4%</td><td></td><td>28.6%</td></tr></table>		国語	数学	英語	理科	社会	全体	71.4%	50.0%	61.2%		64.5%	思・判・表のうち低い問題	21.4%	28.5%	21.4%		28.6%
		国語	数学	英語	理科	社会													
	全体	71.4%	50.0%	61.2%		64.5%													
	思・判・表のうち低い問題	21.4%	28.5%	21.4%		28.6%													
・学習アンケート(生徒)4月時点 肯定的回答																			
※「場面や条件をもとに、適切な表現を用いて書くことができる」 93.3%																			
※「自分の考えが伝わるように資料や文章、話の組み立てなどに工夫して発表していた」91.1%																			
※「間違った解答を書いたり、発言したりすることが恥ずかしく感じる」 46.6%																			

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的取組	評価項目	評価
<p>①表現に必要な内容を生徒と確認する。表現に不足や曖昧さがあつた場合は問い返しを行う。</p> <p>②適切な表現にするため、話し合いの視点を明示する。 視点について意識できるように、視点カードを掲示する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実施検証(教員アンケート)「表現に必要な内容を生徒と確認し、表現に不足や曖昧さがあつた場合は問い返しを行っている」 100% 「適切な表現にするための話し合いの視点を明示している」 100% 成果検証(学習アンケート)「場面や条件に応じた適切な表現で書いている」 95% (ノート検証)「条件に沿って表現している」 70% 研究授業「条件に沿って表現している」 70% 診断テスト(検証問題)「条件に沿って表現している」 60% 	

(3) 検証と改善 (C・A)

月	評価項目(誰が、いつ)	結果	取組の成果○・課題▲
4	<input type="checkbox"/> R7 全国学力調査・県基礎学(集計・分析 T) <input type="checkbox"/> 学習アンケート(検証・研修支援 T)	学習アンケート 93.3%	▲思判表の結果で正答率が低い問題があり、各種調査結果(客観的評価)と学習アンケート(生徒自己評価)に差が見られる。
5	<input type="checkbox"/> 研究授業(瀧下教諭、英語) <input type="checkbox"/> 診断テスト①(集計・分析 T)		
6	<input type="checkbox"/> 研究授業(赤坂教諭、社会) <input type="checkbox"/> ノート検証(指導力改善 T)		
7	<input type="checkbox"/> 診断テスト②(集計・分析 T) <input type="checkbox"/> 教員アンケート(指導・研究 T) <input type="checkbox"/> 学習アンケート(検証・研修支援 T)		



前期（I期）取組の成果○・課題▲

2 基盤づくり



目標	具体的取組	評価
多様な考えを認め合い、安心して自分の考えを話すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が話す場、活躍する場を増やす。(委員会活動、縦割清掃) 認め合う場を設ける。(道徳の授業の充実、体育祭・文化祭後に輝いていた人をピックアップする「キラリ人」) 話す・聞く態度の育成(話している人を見る、人の話を遮らない) 	